

Chartered April 11, 1998

# THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401, Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe  
 Mail : kuwano-t@nifty.com Phone : 078-431-8418 658-0016, JAPAN  
 URL : http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/



## 主 題

国際協会会長 藤井寛敏 「心新たに立ち上がろう」  
 "Once More We Stand"  
 アジア地域会長 高田一彦 「心新たに立ち上がろう」  
 "Once More We Stand"  
 西日本区理事 仁科保雄 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」  
 "Forward with Y's men's spirit  
 in our hearts"  
 六甲部部长 安行英文 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」  
 "Show Y's care,  
 Sow the seed of Y's"  
 芦屋クラブ会長 桑野友子 「各々のタレントを発揮しよう」  
 "Your-God-Given-Talent,  
 Let it Shine!!"

## 今月の聖句

「人は皆、草のようで、その華やかさはすべて、草の花のようだ。  
 草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は永遠に変わらない。」  
 ペテロの手紙 (1) 1:24~25

## 7月第1例会プログラム

- と き: 2010年7月21日(水) 19:00~21:00  
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3階  
 司 会: 羽太英樹 (敬称略)  
 受 付: 井上雅司・田舎庸男
- 開会点鐘 飯田義雄会長
  - クラブソング斉唱 一同
  - 聖書朗読 羽太英樹
  - 会長交代式 飯田義雄→桑野友子
  - 食前感謝 橋本潤
  - 食事・歓談 一同
  - 六甲部部长訪問および主査のスピーチ  
 安行英文六甲部部长・藤井久子 Yサ・ユース事業  
 主査・大塚章信交流事業主査
  - YMCAニュース 橋本潤連絡主事
  - 誕生祝い 桑野友子会長  
 都筑省三・羽太英樹・羽太光子
  - 議事・報告  
 1) 第2例会議事録承認 桑野友子会長  
 2) 各事業委員報告
  - ニコニコ献金報告 飯田義雄 (ファンド)
  - 閉会点鐘 桑野友子会長

会 長 桑野友子  
 直前会長 飯田義雄  
 副 会 長 堤 清・都筑省三  
 書 記 堀江哲次 羽太英樹  
 会 計 羽太英樹 堤 清  
 監 事 都筑省三 田舎庸男  
 連絡主事 橋本潤  
 六甲部地域奉仕・環境事業主査 飯田義雄

7

July 2010  
 第158号

## 各自のタレントを発揮しよう!

Your-God-Given-Talent let it shine!!

桑野友子



冒頭から数字で恐縮ですが、2008年4月に  
 クラブ10周年記念例会を開催した時、柏原  
 会長の主題「22本の花でブーケを！」の通り、  
 メンバー22名、「チャーター時の25名にしたい  
 ね」と思ったものでした。残念ながら、今期は1  
 7名でのスタート、メンバー数も平均年齢(67

歳)も誇れるものではありませんが、でも私はこのクラブがとても  
 好きです。何よりも大人のクラブ、皆(殆ど?)が紳士淑女です。  
 いわゆる「Yきち」と呼ばれる人はいませんが、例会に遅れてくる  
 人はいません。シャカリキにはならないけど、やる時にはやる。さく  
 ら祭りにしろ、チャリティーランにしろ、街頭募金にしろ、いろんな  
 場面で出来る人が出来る時に夫々にそのタレントを発揮、楽  
 しみながら一つになれる、将に大人のクラブです。

とはいえ、17名は一寸心細い、皆思いは同じでしょう。

Yサ、地域・環境、交流、広報、ファンド、これらはメンバー全  
 員が参加協力しています。あとはEMC、既にEMCの機運は  
 高まっています。1度かなり減ったメンバーが22名にまでなった  
 様に、今、又皆がEMCに思いをよせ動き出す、具体的に行  
 動に移す、それぞれがその経験と感性で新しいメンバーを誘う、  
 各自がそのタレントを輝かす、今年度はそんな年にしたいと7月  
 のキック・オフに際し、決意を新たにしています。

## 6月例会出席表

(敬称略)

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 (累計)
メンバー	15名	出席者	15名	148g (1,060gm)
ビジター	名	メイキャップ	1名	上野・吉岡
ゲスト	名	合 計	名	ニコニコ (累計)
メネット	名	在籍者	18名	11,510円(186,886円)
合 計	15名	出席率	88.9%	

## 6月第1例会報告

日時：2010年6月16日(水)

場所：ホテル竹園芦屋 3階

司会：堤 清

(敬称略)

出席者：飯田、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、橋本、羽太、福原、堀江、吉岡、渡辺

6月今期最後の例会は、メンバー15名の会合でゲスト、ピジターの出席もなく、メンバー一同の(1年を振り返って)の一言を各自役員としての反省と希望をスピーチされました。

飯田会長は「命、平和、共に生きる」をモットーに考えられ、人の知恵、集団の力で、あるときは助け合い、あるときは譲り合っを、実行され会長としての役目を率先して果たせられました。本当にご苦労様で、有難うございました。



6月例会での飯田会長の開会点鐘

がピジターを例会に招き体験していただくという提案があり、特に女性の方をとの意見がありました。

私の会計としての1年は、横浜大会の積立金を集金する役目で終わりました。羽太メンお任せで申し訳なく思っています。ファンド事業として、ジャガイモとさくらまつりの責任を果たせたことを自負しています。資金がないとクラブは存続しません。さくらまつりも天候しだいで収入が変動します。他にファンドとして収入を得る品をメンバーで提案してはどうでしょうか。

私も現役の経営者としての仕事をしていますので、あまり協力できません。次期桑野会長の下でもう少しは頑張りたいと思います。 堤 清

### 6月例会での出席メンバーの発表 あるいは1年を振り返っての一言

「命、平和、共に生きる」を考え、小さな歩み続ける事を第一にした一年でした。自然災害の多い年でしたが佐用町の水害、ハイチ、チリの地震に積極的に参加いただき感謝でした。留学生交流会、スピーチコンテスト、タイワークキャンププログラムでは参加者の生き生きした目を見て私達が元気もらいました。

(6月号ブリテンより抜粋)

飯田義雄

芦屋ワイズに入会して4年目を迎えています。この間六甲部会以外に京都・滋賀部会や他クラブの周年行事、クリスマス

会に参加し今年は西日本区大会にも参加しました。参加してそれぞれ組織としてのまとまりや活発な会員活動、地域への貢献を直接見ることが出来ました。今後、会員の高齢化、不況によって新規会員の増強は容易ではないと思います。むしろ退会を余儀なくされる方が出るかもしれません。楽しいワイズでコミュニケーションとモチベーションを高め、会則により公平な分担を行い、地域密着型のワイズ活動が新規の会員が増える要因ではないかと考えます。

井上雅司



芦屋クラブに支えられて頑張りました。西日本区書記としてお役を全うできたのは、芦屋クラブの暖かい支援あっての一年でした。心から感謝いたします。

09-10年度西日本区書記 上野恭男

西日本区大会広島の前日礼拝後に行なわれた「I Pray」のミュージカルをご紹介します。広島の原爆を経験しない子供たちの創りだす歌と踊り、その表情が語る「平和の祈り」に前列席で私は号泣し、スタンディングオベーションをいたしました。1年半の想いが感動に入交りヒステリックになったのではなく心から戦争はいけない！未来の子供たちを守らなければいけないと魂が揺さぶられたのです。私は彼らをこの六甲部、芦屋に迎えたいと夢見ています。

柏原佳子



芦屋Y'sの会員増強策、出来るだけ見学客を呼び込み、1回目は無料御招待しては如何。年間予算、8-10名分、24,000円-30,000円覚悟する。なお、招待するのは、通常の例会として、クリスマスは招待しない。通常の例会を見ていただいたほうが、入会されると、おもいます。候補者は、60歳以上、10-15年の活動を期待します。

加輪上敏彦

この2年間ブリテン編集をさせていただきました。クラブ例会やクラブ行事の報告や感想、YMCA・西日本区・六甲部の諸行事への参加報告、クラブ間の交流等、全てのメンバーから投稿を得、又、プライベート旅行の紀行文、夫々のトピックス、楽しい写真等が紙面をバラティエーに富ませ、ブリテン編集はとても楽しい仕事でした。西日本区大会ではブリテン優秀賞を頂き、流石芦屋クラブと自画自賛です。今期は会長をやらせて頂きます。クラブライフが益々楽しく有意義なものになる様、皆様と共に頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

桑野友子



貢献が少ないことをお詫びします。今年度は女性会長ですから、少しは張り切らないといけないと思っています。第一例会出席（これは守られています。今年度もこれは実行万一欠席があればメークアップ）、数度は第二例会にも出席を考えたいです（終了後の居酒屋の楽しみもあるし・・・）。あとは EMC ですよね。井上・福原メンという超有力会員リクルートに甘え、手を抜きがちだったかも・・・、でもなかなか難しい課題ではあります。



島田 恒

わたくしの6月第1例会報告をご参照ください。ファンド事業として、ジャガイモとさくらまつりの責任を果たせたことを自負しています。



堤 清



城純一氏と渡辺藤市郎氏に同窓会の時誘われ、サポーターぐらいしか出来ませんよと言って入会して今に至っている。それだけに同じ教会の羽太氏と堀江氏をお誘いしたところ快く入会してくださり、しっかり活動をして頂いていることを大変感謝している。

都筑省三



今年度、六甲部EMC主査を拝命しながら、十分な拡大が出来ず反省しています。今後、若い方、定年後の熟年層、女性へ働きかけ、会員拡大に繋げるのが最も重要です。定例会を工夫し、新しい方々を招待し、さらに奉仕活動を考える方々へYMCAと連携しワイズ活動のPRも必要だと思います。

福原 吉孝



一年の経つのは早いもので、「飯田さんご苦労様！ 桑野さんよろしく！」の時期となってしまった。この一年、例会には極力参加させていただき、色んな方面の方々のスピーチが聞けて知識が増やせて感謝一杯。また昨年度に引き続き会計と Y サの担当ならびにプリテン「今月の聖句」のお役を引き受けさせてもらいました。ご協力ありがとうございました。

羽太英樹

芦屋クラブの皆様からの力強い“ことば”に勇気づけられて、この1年間の「第2例会・議事録作成」を無事に終えました。今度は皆様からのすばらしい“原稿”に助けられて、次の1年「プリテン編集」に取り組みたいと思っています。桑野前編集長および皆様からのかわらぬご支援をよろしく願います。



堀江哲次

交流担当の一年としましては DBC 交流が十分出来なかった点が心残りとなりました。言い訳は本意ではありませんが、理事キャビネットに当クラブから三名が組み込まれた状況では時間的余裕がなかったのは事実です。



ただ、懸案のエチューカYサービスクラブとの IBC が漸く両会長署名式が国際大会の晴れの舞台で行えるところまで辿り着いた事に正直ホッとしています。

来年は出来るだけ多くのメンバーでエチューカを訪ねたいものです。

吉岡浩一

一人では何もできないが、多勢なら何かはできるそんな思いでワイズに参加させていただいておりますが、ワイズの皆様のパワーに、大変勇気と刺激を与えられております。ワイズの活動の中で、私にできることは些細なことに過ぎませんが、お一人お一人の活動を見て、色々な奉仕の形があることを学んだ一年でした。今年 EMC に力をいれなくてはと思っています。



渡辺倫子

## 西日本区大会 前夜祭

何回か打ち合わせに参加した広島会議の初期の段階で、前夜祭の構想を渡邊実行委員会事務局長から伺った時、その垢ぬけたお洒落な発想に魅せられました。広島美術館の芝生の中庭に音楽はマンダリンの生演奏、シャガール、ゴッホ、ピカソの絵画を鑑賞した後の立食 party・・・最終の広島会議では「雨のみが心配・・・」の当然の危惧に対して、私は「大丈夫！晴れます！」いい加減なのではなくまさに祈りです。最高の黄昏ガーデンパーティを迎え、西日本区大会の開催の幕開けです。広島大会はホスト西中国部の皆様のアイディアと、鈴木



大会前夜祭はガーデンパーティでマンダリンの演奏が素敵でした。

理事の「平和を祈る」想いをきっちり受け止めてくださり、豊富な人材を余すところなく生かされた汗と涙の結晶であり、時間との戦いであつたらうと改めて皆様に敬意を表します。

前夜際に大勢が集まったタイミングに合わせて、タイトな時間のため2転3転した到着スケジュールにもくじけず、われらの誇る大野「折るランナー」が元気いっぱい駆け込んで参りました。この瞬間竹本西中国部はじめとする実行委員会の皆様の大会にかけた熱い心が会場に広がりました。ハワイのIBCクラブの紹介、ゴルフコンペの表彰も美術館を背景に絵になります。ワインの酔いでは多分なく？リハーサルで立ちっぱなしの

私の脚は明日の緊張と昨日からの微熱でここまでが限界、最後は芝生に座りこみましたが、フワッと広がった真白なスカートと大きなつばの帽子のお陰で「絵になるね」と心地よいお言葉を耳にしなが、その後ホテルに戻ったとたん、深い眠りに落ちてゆきました。明日がすべて順調に進められますように！前夜祭に乾杯！

柏原佳子

## メネットアワーに参加して

6月12日広島国際会議場で行われたメネットアワーに参加することが出来ました。

西日本各地より、会場いっぱいに参加者で埋まりました。各主任・主査の引き継ぎに続き、国内プロジェクトの支援先「自殺防止センター」の創設者・西原由記子氏と「神戸いのちの電話」の理事長・山口徹氏からお話を伺いました。皆様のお働きとその熱心さに感動いたしました。

今回このような場で腹話術・マジックをさせていただく機会を与えられました。皆様の温かい眼差しと励ましに支えられ、ドキドキしつつも演じることが出来ました。

私にとって本当に良

い経験をさせていただきました。また思いがけない方々からお声をかけていただき、素晴らしい出会いの場となりました。

当日は緊張のあまり会場に早く着き過ぎたおかげで朝の気持ちの良い時に平和公園を散策する時も与えられました。13日は神様の不思議なお働きで広島南部教会に導かれ礼拝を守り、また恵みに満ちた経験と出会いをさせていただきました。この会のため早くから準備してくださいました皆様又演技の機会をくださいましたメネット事業の皆様にご心より感謝申し上げます。

羽太みつこ



メネット会での羽太メネットとエコ(英光)ちゃんと息のあったすばらしい腹話術。



西日本区大会で長時間にわたってすばらしい司会をされた上野メン(西日本区書記)

## 西日本区大会

### 西日本区書記を終えました

09-10年度西日本区理事を六甲部が引き受け、鈴木誠也理事が誕生しました。そして書記に上野、事務局長に柏原ウイメン、事務局スタッフに吉岡メンと3名がキャビネットに入りました。芦屋クラブの活動もできる限り参加した充実した期間でもありましたが、次期から数えて1年半、辞めさせてもらおうかと考えたこともあった大変なストレスのかかる重い役割でした。飯田会長はじめ、芦屋クラブ皆で応援して下さったことが、今日までお役を務めることができた大きな力になりました。それと、もうひとつは柏原事務局長の支えがあったからでしょう。3人の個々のタレントが、広島での西日本区大会が無事終了するまでのあいだの鈴木理事体制を支えてきたかと思えます。

2回の準備役員会、4回の役員会、2年間で役員研修会・会長主査研修会を各2回、広島での西日本区大会とよく無事にやりこなせたと感慨深いものがあります。

芦屋クラブから10万円をキャビネットの活動費としていただきました。感謝です！

柏原事務局長のおかげで、地味なキャビネットではなく華やかなイメージになりました。広島にも打ち合わせに何回も行きましたが、とんぼ返りで帰ってきたために、ゆっくり広島焼きを食べられたのは、西日本区大会のエクスカージョンのときに夢がかないました。



大会の後のエクスカージョンでは、広島の仲間と楽しいひと時を持ちました。

広島の西日本区大会は、8月の国際大会前とあって1日ですべて終えるような工夫をしました。が、結果は大変中身が濃い素晴らしい大会になったと皆さんからお褒めいただきました。大会会場は広島国際会議場と申し分ないものでしたので、運営が楽でした。

芦屋クラブから14名の参加をいただき、羽太メネットの腹話術がメネット会で話題を呼ぶなど、芦屋のメンバーの活躍が目立ちうれしかったです。ワイズは参加すればするほど楽しいクラブと実感しました。これからも、できることから参加して、友人の輪を広げていきませんか。

上野恭男



西日本区大会の六甲部のバナーセレモニー入場で芦屋クラブの旗を持つ飯田会長(右端)



懇親会場で飯田会長、桑野次期会長、西日本区事務局長・書記を中心に集まった芦屋クラブのメンバー



広島国際会議場で西日本区大会の壇上に見事に飾られた千羽鶴(メネットに感謝)



懇親会場で芦屋クラブ桑野次期会長に挨拶されるDBC 熊本みなみクラブ高野次期会長

## エチューカクラブG. スコット氏 IBC署名人としての来日に対しての 田中国際大会ホストコミッティー事務局長と吉岡IBC委員のメールから

下記メール(抜粋)からわかるように着々と、エチューカクラブ G. スコット氏を迎える準備がなされつつあります。

吉岡メンに感謝です。

第 69 回国際大会ホストコミッティー事務局長  
ISDE-IBC 田中博之様

国際大会の晴れの舞台上で IBC Certificate への署名式をする為オーストラリア エチューカYサービスクラブの現書記 Graeme Scott 氏お一人が来られるのですが、メルボルンからシドニー経由で成田に 8/3(木)6:30 AM着く由・・・8/3は 13:40～17:10 浜松町バスターミナルから出るはとバス英語便で東京を案内し、8/4は鎌倉地区を案内、大会終了後は芦屋クラブ↑

↓のメンバーが彼と一緒に連れて帰りご本人が 8/10 成田発 20:30 の便に乗れるよう伊丹/成田便まで当方負担でその間関西地区一京都、奈良、神戸などを会員一同で案内するつもりです。

芦屋クラブ

吉岡浩一

3日に東京の「はとバス」というご予約の様ですが、Scott さんは大会2日目のエクササイズは「東京下町観光」を予約されていますし、夜行便で疲れて横浜に着いて、さらに東京往復するのはちょっと大変かなと思います。横浜市内を軽く観光されてはいかがですか？

田中博之

## お知らせ

今年のクリスマス例会は12月25日(土)に決定！  
 気が早いと笑われそうですが、会場のホテル竹園の都合で例年の23日(祝)から変更です。皆様の手帳・カレンダーに12月25日(土) 芦屋クラブクリスマスと記してくださいね。

## 5月第2例会議事録(抄)

日時: 2010年6月23日(水) 19:00~21:00  
 場所: 市民センター 206会議室  
 出席者: 飯田、上野、柏原、桑野、橋本、羽太、吉岡、堀江 (8名)

## 報告・協議・確認事項

- ◇第1例会プログラム: 下記を予定。
  - 7月 会長交代式、部長公式訪問
  - 8月9日 IBC エチューカクラブの交流・歓迎会、メンバー's スピーチ 加輪上メン
  - 9月 ネット例会
  - 10月 メンバーまたは他クラブからスピーチ?
  - 11月 メンバー's スピーチ 島田メン
  - 12月 クリスマス祝会 12月25日
- 第1例会当日の直前キャンセルの場合本人が竹園ホテルへ、あわせてクラブ会長へ連絡する。
- ◇横浜国際大会(8/5-8/8)とIBCアテンドについて  
 オーストラリア、エチューカクラブからスコットさんが8/3~8/10の間に来日。大会前後のアテンドは8月3日: 吉岡メン(横浜) 8月4日: 飯田会長(鎌倉)、8月8日: 来芦屋し上野メン宅に宿泊 8月9日: 昼 京都観光、夜 第1例会 8月10日: 伊丹→成田 離日にて予定・計画中。

## ◇5月度会計・ファンド報告

羽太メンより資料に基づき行われ、承認された。  
 2010/2011年予算案を討議、一部見直しを実施。

## ◇その他

会員異動届け(由田メン)を提出。  
 六甲部第1回評議会: 7月17日(土) 三田YMCA会館  
 六甲部会: 9月11日(土) 神戸フルーツフラワーパーク  
 ホテル  
 4クラブ合同例会: 10月23日(土) 三田 秋の味覚  
 YMCA125周年記念ポロシャツ販売 @ ¥2,000-  
 ネット会長(連絡員)は柏原メンに決定した。  
 ファンド: ゆずポンズ、ポンズしょう油などの恒常品とごっくん馬路村などの季節品とわけて購入計画・販売する。

書記 堀江哲次

橋本連絡主事

- ◇今年度は2年に一度の同盟表彰の年ですが、芦屋ワイズ関係では上野恭男メンが青少年奉仕賞を受けられました。
- ◇東神戸教会の川上盾牧師が、「日本 YMCA 基本原則」をみんなで歌える歌に作っていただきました。同盟委員会でも全国の皆さんにご披露し、好評を得ました。当日の様子が You Tube に配信されていますので、ご覧ください。  
<http://bit.ly/aXmXe2> (音が出ます。)
- ◇ユースファンドの活用による地球市民育成プロジェクトは2009年度から始まっていますが、神戸からは昨年、余島リーダーが一人参加しました。今年は神戸からの参加者はいませんが、2年目が開催されます。
- ◇今年がYMCAキャンプ90周年に当たることから、キャンプが行なわれています。秋には東京で記念シンポジウムが予定されています。この夏のキャンプ T シャツにも90周年ロゴがあしらわれています。

## 今後の予定

- ◇第25回午餐会
  - 日時: 7月10日(土) 正午~午後2時
  - 場所: 神戸 YMCA 4F サイコー亭
  - テーマ: 「マザー・テレサは生きている  
 —小さなことに愛を込めて—」
  - 講師: 片柳弘史さん(カトリック六甲教会神父)
  - 会費: 1,500円(今年度から変更しています。)
- ※ お申込は前もって、本部事務局までご連絡ください。

## ユースプラザKOBE・EASTのプログラムご案内

- ◇第8回三浦綾子読書講座  
 「細川ガラシャ夫人」  
 日時: 7月10日(土) 14:00~15:30  
 講師: 正田眞次(学座「とうごまの葉の下」代表)  
 参加費: 525円(税込)
- ◇第17回フリーマーケット  
 日時: 7月17日(土) 11:00~16:00
- ◇第26回ミニコンサート  
 ビッグバンドジャズによるコンサート  
 日時: 7月31日(土) 15:00~15:30  
 出演: 甲南 BRASS ENSEMBLE(甲南高校)  
 入場無料

編集後記: 初めてのプリテン編集です。最初はどこからどうしてよいのやら...。6月が年度の最終月であったので、また西日本区大会などあり、たくさん写真を入れましたが、挿入すると各写真が飛び跳ねてしまって、落ち着かせるのに苦労しました。桑野前編集長と上野メンからのご指導とお助けを得てなんとか作成できました。

堀江哲次